

出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略に係る
令和2年度の進捗状況の評価・検証について

出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略の実施にあたっては、年度ごとに、総合戦略推進会議による政策効果検証を行い、必要に応じ総合戦略を見直すこととしていきます。この度、令和2年度の総合戦略の進捗状況について、同推進会議による評価・検証を行いましたので、その結果を報告します。

1) 総合戦略の基本目標に係る令和2年度の進捗状況

基本目標	数値目標 (R2～R6)	R2 実績値
(1)出雲の特性を生かした魅力ある雇用の場を創出するとともに、地域の産業を支える人材を確保する	雇用創出 (5年間) 1,000人 (H27～R元年度実績 1,537人)	345人
(2)出雲との縁をつなぎ、ひとの流れをつくる	社会増〔転入－転出〕 (5年間) 1,600人 (H27～R元年度実績 3,060人)	657人
(3)出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる	出生数 (5年間) 8,000人 (H27～R元年度実績 7,486人)	1,381人
(4)住みやすさNo.1のまちづくりを行うとともに、住民による主体的な地域づくりを進める	市民満足度調査「住みやすいと感じる人の割合」 90% (R元年度調査 86%)	86% (R元年5月調査結果より)
(5)広域連携による魅力ある圏域づくりをめざす	中海・宍道湖・大山圏域人口 60万人の維持 (R2年3月末住民基本台帳人口 64.7万人)	64.3万人 (R3年3月末住民基本台帳人口)

2) 出雲市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の開催状況

会 長 山岡 尚 出雲商工会議所専務理事
委 員 計20人で構成 (任期は令和5年3月31日まで)
開催日 令和3年10月15日 13:30～16:30

3) 重要業績評価指標（KPI）の評価結果

	指標数	評価				
		A	B	C	D	その他
合計	94	35	16	14	18	11
基本目標(1)	20	8	2	5	5	0
基本目標(2)	9	4	2	2	1	0
基本目標(3)	38	17	6	2	4	9
基本目標(4)	21	5	5	3	6	2
基本目標(5)	6	1	1	2	2	0

※「その他」は、令和2年度の数値が把握できないもの。（調査未実施等）

【数値目標・従業業績評価指標（KPI）の評価方法】

令和2年度の目標値と実績値とを比較して達成率を算出し評価区分を判定しています。

評価	区分ごとの評価内容
A	令和2年度実績値が「(参考) R2年度目標値」を上回った
B	「(参考) R2年度目標値」に対する令和2年度実績値の達成率「8割以上10割未満」
C	「(参考) R2年度目標値」に対する令和2年度実績値の達成率「6割以上8割未満」
D	「(参考) R2年度目標値」に対する令和2年度実績値の達成率「6割未満」

4) 基本目標ごとの進捗・評価

基本目標（１） 出雲の特性を生かした魅力ある雇用の場を創出するとともに、地域の産業を支える人材を確保する

数値目標	雇用創出数（５年間） 1, 000人 ＜参考＞ 単年度平均 1,000人÷5年=200人
実績値	345人

＜実績内訳＞

出雲市総合計画『出雲未来図』の「雇用創出2500人プロジェクト」実績(単位:人)

年度	雇用創出数 (A)	内訳:雇用等形態		参考	
		創業・自営	正規	非正規 (B)	新規雇用者数 (A)+(B)
H27	260	15	245	37	297
H28	255	13	242	68	323
H29	338	9	329	56	394
H30	295	12	283	26	321
R元	389	17	372	48	437
R2	345	17	328	22	367
計	1,882	83	1,799	257	2,139

〔令和２年度 雇用創出数 345人の内訳〕

- ① 企業誘致（新設・増設等）によるもの 280人
- ② 児童クラブの充実支援によるもの 37人
- ③ 空き店舗を活用した開業支援によるもの 10人
- ④ 農業の担い手育成支援によるもの 6人
- ⑤ その他 12人

参考〔平成27年度～令和元年度 雇用創出数の内訳〕

- ① 企業誘致（新設・増設等）によるもの 1,188人
- ② 観光産業（宿泊業）の振興によるもの 81人
- ③ 出雲ブランド認定企業によるもの 71人
- ④ 新規就農者支援によるもの 46人
- ⑤ 看護系専門学校の誘致によるもの 24人
- ⑥ その他 127人

【数値目標の達成状況】

基本的方向	No.	重要業績評価指標 (KPI)	単位	実績値	目標値	(参考) R2年度目標値	評価
				R2年度	R6年度末		
(1)第一次産業の活性化と担い手の育成・確保	1	認定新規就農者数	人	8	5人増 (対前年度比)	5	A
	2	森林経営に向けて集約した施業団地数	団地	1	5 (5年間)	1	A
	3	学校給食地産地消率	%	60	63.0	60.6	B
(2)出雲ブランドの活用	4	出雲ブランド商品認定数	商品	27	39	26	A
	5	「おいしい出雲」認定数	商品	114	180	166	C
(3)滞在型観光の充実とインバウンドの推進	6	観光入込客数	万人	879	1,200	1,169.6	C
	7	宿泊者数	万人泊	55	100	79.76	C
	8	外国人宿泊客数	人泊	2,114	20,000	10,300	D
	9	出雲縁結び空港就航便の利用者数	万人	31	110	102.8	D
(4)地場企業への支援	10	技能検定受検者数	人	39	350 (5年間)	70	C
	11	島根大学との共同開発件数	件	9	30 (5年間)	6	A
	12	創業者数	件	51	200 (5年間)	40	A
	13	ビジネスマッチングによる商談成約件数	件	31	265 (5年間)	53	D
	14	就職を希望する市内高校新卒者の県内就職率	%	78.7	78	76.32	A
		就職を希望する市内高校新卒者の市内就職率	%	63.0	70	63.52	B
(5)企業誘致の促進	15	製造業・ソフト産業の立地計画認定件数	件	4	30 (5年間)	6	C
(6)地域の産業を支える人材の確保	16	市内ソフト系IT企業従事者数	人	423	480	360	A
	17	就職を希望する市内高校新卒者の県内就職率	%	No.14と同様			
		就職を希望する市内高校新卒者の市内就職率	%				
	18	県外での企業交流会参加学生数	人	0	250 (5年間)	50	D
	19	職場定着向上支援セミナー受講者数	人	50	500 (5年間)	100	D
職場定着向上支援セミナー実施回数		回	3	3回/年	3	A	

重要業績評価指標 (KPI) の評価結果

指標数	評価			
	A	B	C	D
20	8	2	5	5

【地方創生推進交付金の活用】

事業名	周遊滞在型観光をめざした戦略的情報発信による「ご縁のまち"出雲"」創出プロジェクト		
事業期間	令和2年度～令和4年度		
事業概要	<p>「周遊滞在型観光の推進」「戦略的な情報発信」「インバウンドの推進」の3つの側面から本市観光の課題を整理し、各事業に取り組む。</p> <p>【周遊滞在型観光の推進】 観光客を市内の各地域に周遊させるため、二次交通対策として、広範囲に点在する各地域の観光資源をつなぐ周遊観光タクシー「うさぎ号」の運行」の実施、自転車を活用したツーリズムを行う。</p> <p>【戦略的な情報発信】 宿泊しなければ来ることの出来ない地域（首都圏・F D A 就航地等）や、旅行に興味を持つ人などをターゲットとし、国内外への動画やSNSを活用したデジタルマーケティングを実施する。計測可能なデータの収集・分析を行うことで戦略的な観光誘客政策・プロモーションの継続的改善、最適化を進め効果的な情報発信を図る。出雲大社以外の観光についても積極的に情報発信し、興味関心を持ってもらい周遊・滞在時間の延長につなげる。</p> <p>【インバウンドの推進】 出雲の認知度向上を図るため、国際交流員の取材による「外国人目線」をメインにした多言語Webサイトの充実、海外商談会やバス・空路を利用する外国人、個人旅行者に向けた取組も実施し、外国人宿泊客の増加を図る。</p>		
事業費	53,864,137円（うち交付金 26,932,068円）		
数値目標の達成状況			
	重要業績評価指標（KPI）	令和2年度実績	評価
①	宿泊者数 20,000人（794,951人⇒814,951人）	550,877人	D
②	外国人宿泊者数 2,000人増（11,552人⇒13,552人）	2,114人	D
③	観光消費額 395百万円増（59,847百万円⇒595,242百万円）	33,229百万円	D

事業名	山陰まんなかインバウンド推進プロジェクト		
事業期間	平成30年度～令和2年度		
事業概要	<p>山陰まんなかインバウンド推進プロジェクトは、松江市、出雲市、米子市及び境港市の4市で実施する広域連携事業である。</p> <p>中海・宍道湖圏域に存在する歴史・文化・自然遺産を磨き上げ、夜のイベントの開催や体験サービスなど、観光メニューの幅を広げ、積極的な情報発信を通じて外国人観光客及び宿泊者数の増加を図る。 (事業期間：平成30年度～令和2年度)</p> <p>【出雲市実施事業】 【夜の演出と魅力創出事業】 ○「恋する灯台プロジェクト」事業委託 「恋する灯台」に認定された日本一高い白亜の灯台『出雲日御碕灯台』を活用したライトアップイベントをはじめその周辺の観光資源を活用し、夕方から夜にかけてのイベントを行う。</p> <p>○「夜の散策プロジェクト」実施補助 神門通りに“うさぎ”をキーワードにした行燈を飾るなど夜の散策を楽しんでもらう。</p> <p>【観光コーディネーター事業】 ○コーディネーター人件費 各プロジェクト実施に向け全体的なコーディネートをする人材を雇用する。</p>		
事業費	10,100,000円 (うち交付金 5,050,000円) ※全体 95,204,783円 (うち交付金 47,352,663円)		
数値目標の達成状況			
重要業績評価指標 (KPI)		令和2年度実績	評価
①	外国人観光宿泊客数 35,000人増 (117,000人⇒152,000人)	-	-
②	外国人観光客消費額単価 45,000円増 (130,653円⇒175,653円)	185,413円	A
③	外国人観光客の満足度 70%	-	-
④	実施したインバウンド対応メニューのうち満足度が8割以上のものの数 28本	1本	D

【地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の活用】

〔認定地域再生計画名〕

出雲市まち・ひと・しごと創生推進計画

〔寄附実績〕

寄附企業	寄附金額	充当事業
富田興業株式会社 (兵庫県西宮市)	50 万円	《事業名》人材確保対策推進事業 《概要》 地元企業の人材確保を目的に、出雲地区雇用推進協議会による雇用推進の取組や、県外での情報発信等の取組を行うとともに、UIターン就職希望者及び日系ブラジル人に対する就職支援を行う。
信金中央金庫 (東京都中央区)	1,000 万円	《事業名》いずも創業・第二創業・事業承継に係る連携支援【御縁】 《概要》 地域の創業や事業継続を支援するため、各支援機関が互いの支援メニューや相談者情報を共有することにより、ワンストップで相談者のステージに応じた支援メニューを提供できる体制を構築する。

※信金中央金庫からの寄附金は、令和3年度から令和5年度の3年間の事業に充当する予定です。

【推進会議での意見・提案】

なし

基本目標（２） 出雲との縁をつなぎ、人の流れをつくる

数値目標	社会増（５年間）１，６００人 ＜参考＞ 単年度平均 1,600人÷5年＝320人
実績値	657人

＜実績内訳＞

社会動態の推移(外国人を含む)

(単位：人)

	出雲市						社会増	外国人数 (各年度末)
	転入等			転出等				
	男性	女性	合計	男性	女性	合計		
H27年度	3,208	2,558	5,766	2,656	2,233	4,889	877	2,899
H28年度	2,932	2,342	5,274	2,781	2,272	5,053	221	3,126
H29年度	3,297	2,727	6,024	2,646	2,268	4,914	1,110	4,001
H30年度	3,451	2,909	6,360	2,895	2,474	5,369	991	4,908
R元年度	3,001	2,541	5,542	3,171	2,510	5,681	△ 139	4,605
R2年度	2,938	2,456	5,394	2,584	2,153	4,737	657	4,846

〔社会動態の内訳〕

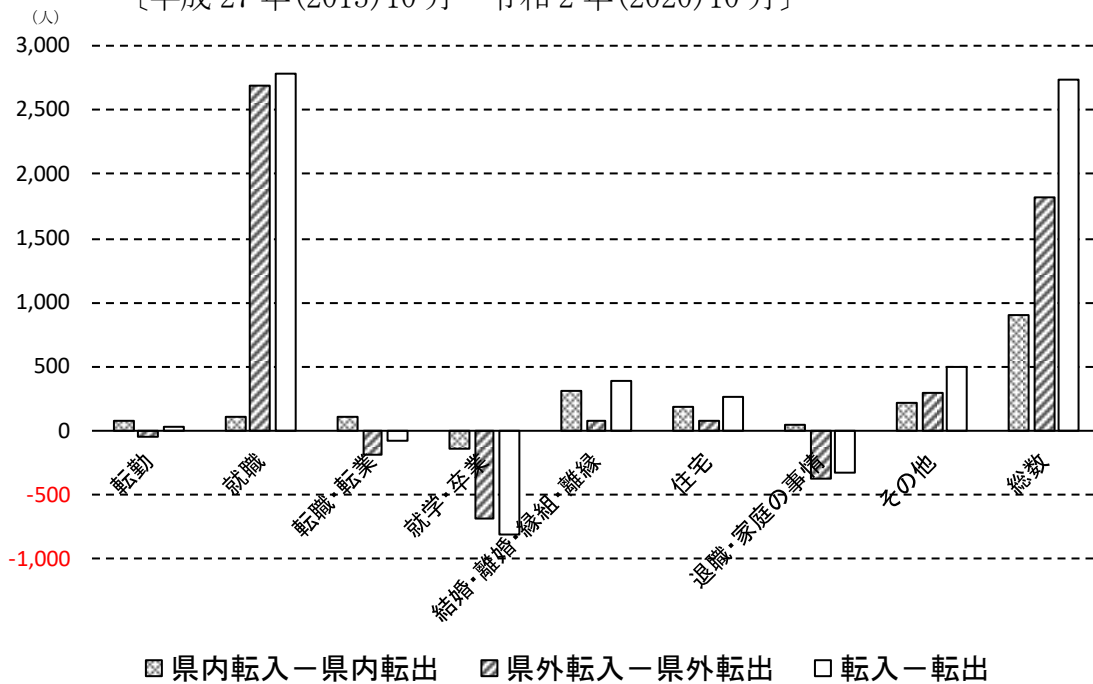
	転入等			転出等			社会増減数		
	合計	日本人	外国人	合計	日本人	外国人	合計	日本人	外国人
H27年度	5,766	4,416	1,350	4,889	3,988	901	877	428	449
H28年度	5,274	4,006	1,268	5,053	3,992	1,061	221	14	207
H29年度	6,024	4,219	1,805	4,914	3,969	945	1,110	250	860
H30年度	6,360	4,305	2,055	5,369	4,189	1,180	991	116	875
R元年度	5,542	4,224	1,318	5,681	4,015	1,666	△ 139	209	△ 348
R2年度	5,394	4,425	969	4,737	3,948	789	657	477	180

(出典) 住民基本台帳

<参考データ>

①移動理由別の転入超過の状況（原因者のみ）

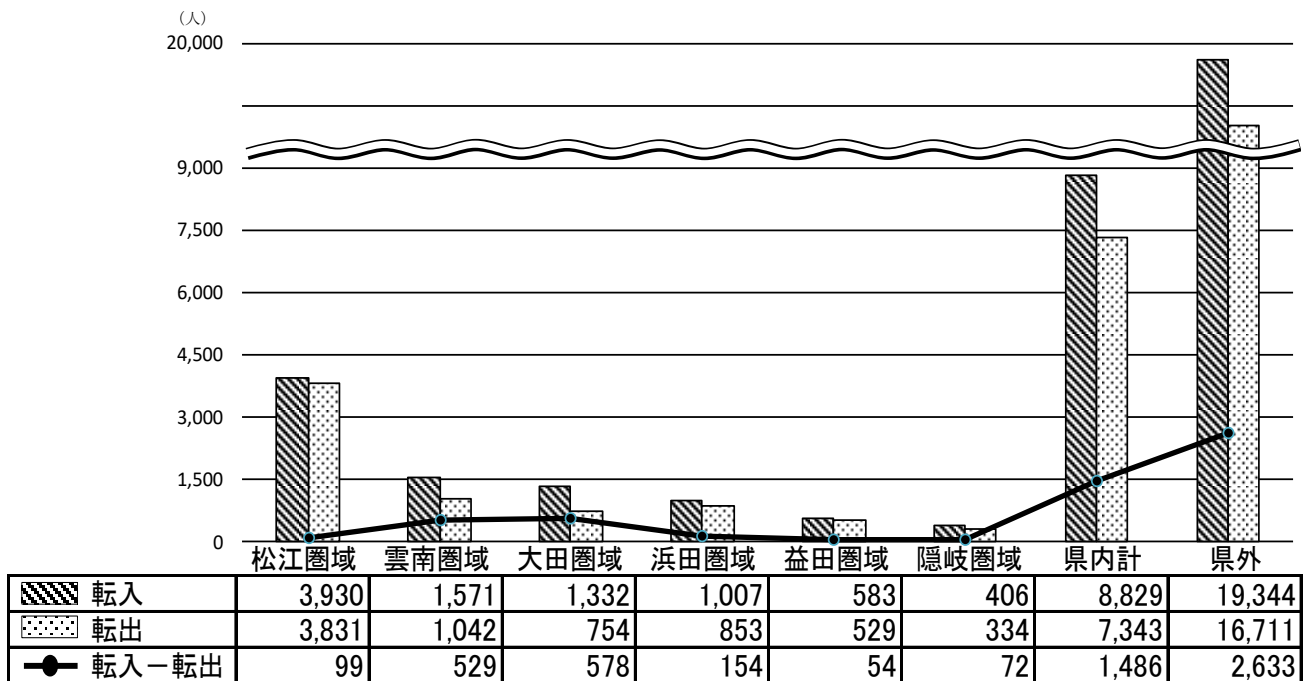
〔平成27年(2015)10月～令和2年(2020)10月〕



(出典)「島根の人口移動と推計人口」による市町村・移動理由別移動者数

②県内圏域別の人口移動の状況

〔平成27年(2015)10月～令和2年(2020)10月〕



(出典)「島根の人口移動と推計人口」による市町村間移動者数

【数値目標の達成状況】

基本的 方向	No.	重要業績評価指標 (KPI)	単位	実績値	目標値	(参考)	評価
				R2年度	R6年度末	R2年度目標値	
(1)出雲の魅力発信	20	「出雲人-IZUMOZINE」及び「いずも暮らし」ホームページコンテンツアクセス件数（ページビュー数）	万件	27	66	49.36	C
	21	図柄入り出雲ナンバー交付枚数	枚	3,247	3,000	600	A
(2)移住促進	22	UIターン就職支援窓口相談者数	人	257	500 (年間延べ人数)	456	D
	23	移住支援金を利用して東京圏から移住した世帯数	世帯	3	25 (5年間)	5	C
	24	助成事業利用による女性のUIターン者数	人	18	50 (5年間)	10	A
	25	移住促進助成件数	件	30	100 (5年間)	20	A
	26	空き家バンク登録物件数	件	25	150 (5年間)	30	B
(3)定住促進	27	定住促進助成件数	件	117	150	128	B
	28	市内大学・専門学校在学生数	人	1,949	2,000	1,860	A

重要業績評価指標（KPI）の評価結果

指標数	評価			
	A	B	C	D
9	4	2	2	1

【推進会議での意見・提案】

- ・外国人の人口増減について、R元は、米中関係の影響で相当の方が日本を離れた。米中経済摩擦がいつ繰り返すかもわからない中で、R2の状況を見て安心するのではなく、現状や原因をしっかりと分析したうえで、事業の見直し等を検討することが必要。
- ・学校基本調査でみると、県全体では、高校を卒業して県外進学する人は山陽が圧倒的に多く、次いで西近畿、関東圏が多い。大学等を卒業して就職する際は、住民票の異動を見ると関西圏が最も多く、次いで山陽、東京となる。就職の際は住民票の動きで追うことができるので、出雲で生まれた子がどこへ進学し、その後どこへ就職しているかということ进行分析したうえでUターン、Iターンの働きかけをすることが重要。

基本目標（３） 出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる

数値目標	出生数（５年間）８，０００人 ＜参考＞ 単年度平均 ８,０００人÷５年＝１,６００人
実績値	１，３８１人

＜実績内訳＞

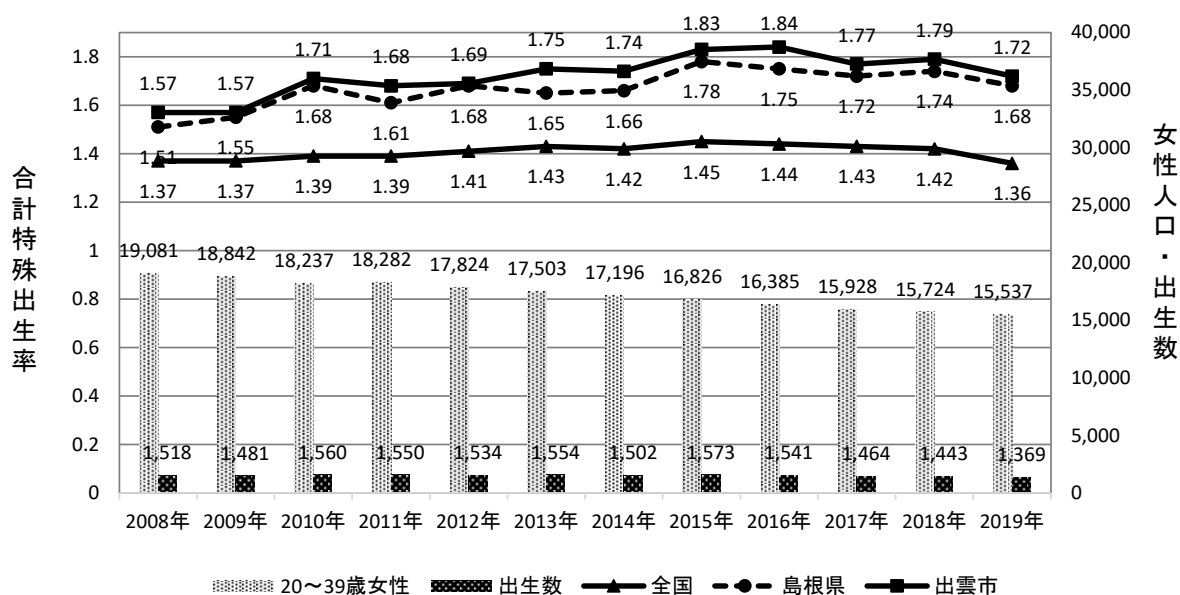
出雲市の自然動態の推移(外国人内数あり)

	出生数		死亡数		自然増減数	
		うち外国人		うち外国人		うち外国人
H27年度	1,599	20	2,057	10	△ 458	10
H28年度	1,571	23	2,025	3	△ 454	20
H29年度	1,474	17	2,088	2	△ 614	15
H30年度	1,406	37	2,024	5	△ 618	32
R元年度	1,436	47	2,100	2	△ 664	45
R2年度	1,381	65	2,120	4	△ 739	61

(出典:住民基本台帳)

＜参考データ＞

合計特殊出生率の推移と女性人口（20～39歳）・出生数（暦年）



【数値目標の達成状況】

基本的 方向	No.	重要業績評価指標（KPI）	単位	実績値	目標値	（参考） R2年度目標値	評価
				R2年度	R6年度末		
(1)結婚支援	29	婚活ツアー実施回数	回	0	10 (5年間)	2	D
		カップル率	%	0	30.0	6.0	D
	30	ライフデザイン講座開催数	回	1	3回/年	3	D
(2)妊娠・出 産・子育てへ の切れ目な い支援	31	一般不妊治療費助成制度利用 (申請) 件数	件	199	250件/年	250	B
		不育症治療費助成制度利用(申 請) 件数	件	12	50 (5年間)	10	A
	32	あかちゃんのお世話教室満足度	%	83.8	100.0	96.4	B
		はじめての子育て講座満足度	%	90.8	100.0	92.3	B
		4か月児健診対象者の絵本とのふ れあい実施率	%	100.0	100.0	100.0	A
		ここつとティータイム講座満足度	%	100.0	100.0	94.0	A
	33	子育て支援センター利用者数	人日	40,466	51,700	51,700	B
		ファミリーサポートセンター利用者数	人日	6,191	6,220	6,158	A
	34	4月1日時点の認可保育所・認定こ ども園・小規模保育事業施設の待 機児童数	人	0	0	2	A
		児童クラブ利用者数(5月1日時 点)	人	2,301	2,641	2,196	A
	35	医療費助成証交付人数	人	1,238	1,400	280	A
	36	通訳・翻訳件数(子ども未来部所 管)	件	2,220	1,400件/年	1,400	A

基本的 方向	No.	重要業績評価指標 (KPI)		単位	実績値	目標値	(参考)	評価
					R2年度	R6年度末	R2年度目標値	
(3)教育の充 実	37	全国学力調査 ・授業を理解している割合	小学 5 年生	%	-	90.0	90.0	-
					-	90.0	87.6	
			-	90.0	86.4			
			-	90.0	90.0			
		中学 2 年生	%	-	85.0	85.0	-	
				-	85.0	80.4		
				-	85.0	82.2		
				-	85.0	82.0		
	全国学力調査 ・授業で、課題の解決に 向けて自分で考え、自分 から取り組んでいる割合	小6	%	-	85.0	80.6	-	
		中3	%	-	80.0	76.7	-	
	38	ICT環境の整備 ・無線LAN整備 (普通教室)		%	100	100.0	79.6	A
		ICT環境の整備 ・学習用PCのうち可動式PCの割合		%	100	85.0	45.8	A
		全国学習状況調査 ・授業のICT活用状況 (学級週1回以上)	小学校	%	-	90.0	88.7	-
			中学校	%	-	90.0	86.6	-
	39	全国学習状況調査 (中3) ・英語の授業は好きだ (肯定回答 割合)		%	-	65.0	56.0	-
		全国学習状況調査 (中3) ・英語の授業はよく分かる (肯定回 答割合)		%	-	80.0	68.4	-
	40	学校図書館を活用した 授業実施数 (1学級あ たりの年間時数)	小学校	時間	22.0	30.0	26.5	B
			中学校	時間	7.0	8.0	6.8	A
		全項目のうち学校司書ま たはヘルパーが授業に関 わった割合	小学校	%	26.4	20.0	15.7	A
			中学校	%	5.8	20.0	16.8	D
		学校司書配置割合 (配置校/全校)		%	17校/48校	30校/44校	20校/44校 ※全小学校配置	C
	41	不登校児童の割合		%	2.64	1.98	2.06	C
	42	支援生徒数 (ひとり親家庭の生徒 への学習支援)		人	50	250 (5年間)	50	A
	43	日本語指導期間1年以上の児童生徒 の日本語能力ステージの向上割合		%	82.7	80.0	71.2	A
	44	アプローチカリキュラム策定 率	保育所	%	69.1	100.0	66.4	A
			幼稚園	%	84.0	100.0	84.8	B
保幼小交流の日参加率		%	-	100.0	97.6	-		
育ちの応援シート回収率		%	99.9	100.0	99.8	A		
(4)ワーク・ラ イフ・バランス の推進	45	ワーク・ライフ・バランスに関する企業 や市民に向けた講座の開催数		回	5	5回/年	5	A

重要業績評価指標（KPI）の評価結果

指標数	評価				
	A	B	C	D	その他
38	17	6	2	4	9

※全国学力調査及び全国学習状況調査はR2年度実施されなかったため、当該項目は評価していません。

※保幼小交流の日はR2年度中止したため、当該項目は評価していません。

【推進会議での意見・提案】

- ・不妊治療や不育症治療への助成、子どもを産んだ後のサポートなど、子どもを産み、育てやすい環境が徐々に整っている中で、若者に対して、結婚への不安を取り除いたり、希望を与えることが必要となるのではないかな。
- ・結婚支援は民間に任せて、行政は不妊治療費助成のような他の施策にコストをかけたほうが良いのではないかな。
- ・「はぴこ」は無料なのでとりあえず登録したが、平日の昼間は仕事などがあり（「しまこ」を）利用できないという人が多い。柔軟に対応できるよう改善して欲しい。
- ・結婚支援などのKPIが、目的ではなく手段になっている。ツアー実施回数や講座開催回数などはKPIには向いていないのではないかな。
- ・カップル率を増やすためには、出会いの場を提供したうえで、その後のサポートが重要になるのではないかな。

基本目標（４）住みやすさ No.1 のまちづくりを行うとともに、住民による主体的な地域づくりを進める

数値目標	市民満足度調査「住みやすいと感じる人の割合」90%
実績値	86%（令和元年5月調査結果）

【市民満足度調査の概要】

- (1) 調査対象者 市内に居住する満18歳以上の者
- (2) 調査数 2,800人
- (3) 調査方法 住民基本台帳から無作為抽出して郵送配付、郵送回収
- (4) 調査結果 回収数1,199人（回収率42.8%）

【数値目標の達成状況】

基本的方向	No.	重要業績評価指標（KPI）	単位	実績値	目標値	（参考） R2年度目標値	評価
				R2年度	R6年度末		
(1)安全、安心なまちづくり	46	防災行政無線戸別受信機の聴取可能な整備エリアの割合	%	100	100	47.2	A
	47	いずも防災メールの登録者数	人	6,756	10,000	5,993	A
(2)生涯現役のまちづくり	48	特定健診受診率	%	43.9 (速報値)	60.0	48.1	B
		がん検診受診率					B
		①胃がん検診（40～69歳）	%	2.3	10.0	5.6	
		②大腸がん検診（40～69歳）	%	24.9	50.0	34.5	
		③乳がん検診（40～69歳）	%	40.5	60.0	45.2	
		④子宮がん検診（20～69歳）	%	39.3	70.0	49.4	
	⑤肺がん検診（50～69歳）	%	1.2	10.0	2.0		
49	朝食を食べない市民の割合	%	—	0	11.2	—	
	日常生活で塩分を取りすぎないように気をつけている市民の割合	%	—	50.0	34.7	—	
	食のボランティアの活動回数	回	209	330回/年	330	C	

基本的方向	No.	重要業績評価指標 (KPI)	単位	実績値	目標値	(参考)	評価
				R2年度	R6年度末	R2年度目標値	
(3)共生のまちづくり	50	身体障がい者対象の自動車改造費助成件数	件	6	10件/年	10	C
		身体障がい者対象の自動車運転免許取得費助成件数	件	2	5件/年	5	D
	51	障がい者差別解消法における合理的配慮や“あいサポート”運動の普及啓発の出前講座受講人数	人	1,814	6,000 (5年間)	1,200	A
	52	外国人住民の長期 (5年以上) 滞在者の割合	%	37.0	40.0	38.7	B
(4)中山間地域の活性化	53	小さな拠点づくりに向けた取組 (現場支援地区の累計数)	地区	3	5	4	C
(5)地域を支えるひとづくり	54	自治会加入世帯数	世帯	39,427	41,000	40,455	B
	55	コミュニティセンター利用者数	人	474,858	810,000	809,340	D
	56	市民協働事業の補助対象事業採択数	件	2	6件/年	6	D
	57	出雲総合芸術文化祭事業鑑賞者数	人	1,693	10,000	10,000	D
		スポーツイベント市民参加者数	人	399	3,000	2,300	D
58	島根大学・島根県立大学及び市内専門学校との連携事業数	件	116	130	118	B	
(6)交通ネットワークの確保	59	山陰道「出雲・湖陵道路」進捗率	%	80.0	100.0	75.2	A
		山陰道「湖陵・多伎道路」進捗率	%	79.0	100.0	58.4	A
	60	出雲縁結び空港就航便の利用者数	万人	31	110	102.8	D

重要業績評価指標 (KPI) の評価結果

指標数	評価				
	A	B	C	D	その他
21	5	5	3	6	2

※「朝食を食べない市民の割合」「日常生活で塩分を取りすぎないように気を付けている市民の割合」は、次回調査は令和5年度を予定しているため、評価していません。

【推進会議での意見・提案】

- ・中山間地域では交通ネットワークが非常に脆弱。特に高齢者の免許返納等があった場合に外出をどうするかということは喫緊の問題である。このようなことを踏まえて、地域における交通ネットワークの問題について検討してほしい。
- ・満足度を上げるためには、地域ごとに、現在どのようなことが必要なのかを考えていくべき。全体で目標を掲げても地区に合わないことがあるので、地区に合った方向を検討すべき。
- ・基本目標である「住みやすさ」のイメージと、具体的施策やKPIが繋がっていない。

基本目標（５）広域連携による魅力ある圏域づくりをめざす

数値目標	中海・宍道湖・大山圏域人口 60万人の維持
実績値	64.3万人（令和3年3月末 住民基本台帳人口）

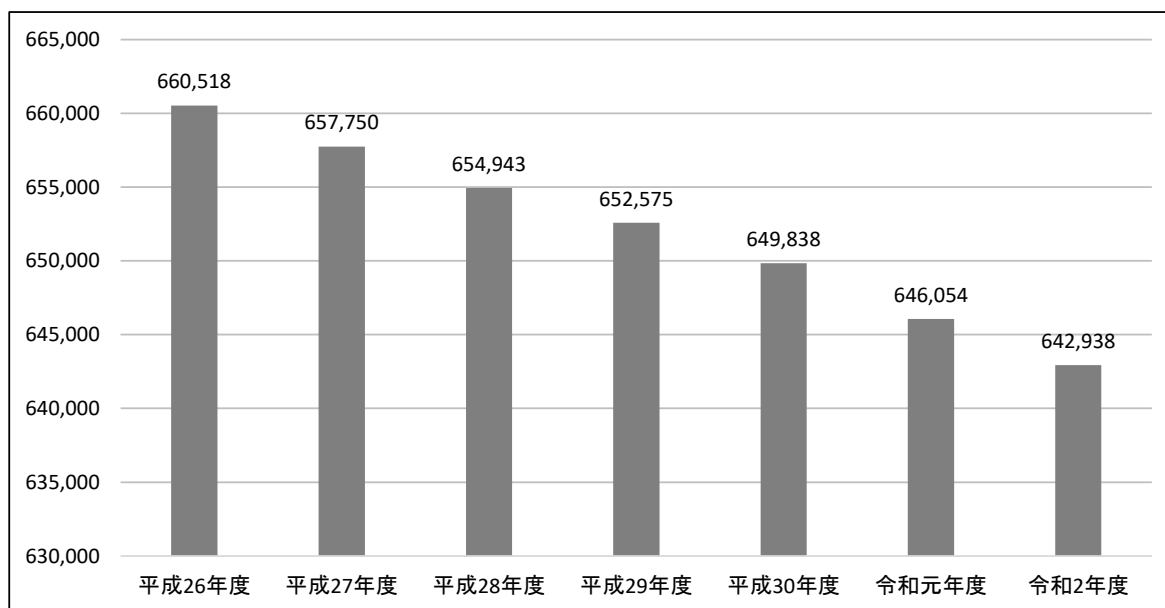
<実績内訳>

中海・宍道湖・大山圏域 住民基本台帳人口の推移

（単位：人）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人口	660,518	657,750	654,943	652,575	649,838	646,054	642,938
前年度対比	-	△ 2,768	△ 2,807	△ 2,368	△ 2,737	△ 3,784	△ 3,116

（注）人口は各年度の3月31日現在の数値



【数値目標の達成状況】

基本的 方向	No.	重要業績評価指標 (KPI)	単位	実績値	目標値	(参考) R2年度目標値	評価
				R2年度	R6年度末		
(1)中海・宍道湖・大山圏域市長会を軸とした広域連携の推進	61	ビジネスマッチング商談件数	件	318	3400 (5年間)	680	D
	62	圏域での外国人観光客宿泊数	千人泊	11 (島根県)	459	207	D
	63	圏域での国内観光客宿泊数	万人泊	327	433	413	C
	64	観光消費額	億円	820	1,160	1,064	C
	65	免税店登録店舗数	店舗	146	220	160	B
	66	圏域内への移住者数	人	3,046	3,000 (維持)	3,000	A

重要業績評価指標 (KPI) の評価結果

指標数	評価			
	A	B	C	D
6	1	1	2	2

【地方創生推進交付金の活用】

事業名	中海・宍道湖・大山圏域ブランド化推進プロジェクト ～山陰まんなか共和国の挑戦～		
事業期間	平成28年度～令和2年度（5年間）		
事業概要	(1)中海・宍道湖・大山圏域インバウンド機構の自立に向けた取組の推進 ①収益事業（観光分野・物産分野）案の試行の検証と更なる展開 (2)国内向けプロジェクト・三大都市圏等に向けた圏域PR経費 ①各種広告媒体を活用した圏域の情報発信 (3)海外向けプロジェクト・圏域インバウンド対策事業 ①ターゲット国を絞ったプロモーション・イベント等の実施経費 ②海外旅行業者ファムトリップ（視察旅行）の実施 (4)東京オリンピック・パラリンピックを契機とした圏域情報発信・誘客事業 ①2020東京オリンピック・パラリンピックを見据えた圏域PRの実施		
事業費	3,651,737円（うち交付金 1,750,000円） ※圏域全体 12,781,080円（うち交付金 6,124,000円）		
数値目標の達成状況			
重要業績評価指標 (KPI)		令和2年度実績	評価
①	圏域への観光入込客数 40,700,000人	17,077,995人	D
②	圏域での外国人宿泊客数 123,000人	(島根県) 10,204人	-

事業名	中海・宍道湖・大山圏域のローカルTOグローバルイノベーション推進プロジェクト		
事業期間	平成28年度～令和2年度（5年間）		
事業概要	(1)支援体制の運営 ①医工連携コンシルジュの配置、自立した支援体制に向けての具体的取組の試行 (2)支援事業の展開 【入口支援事業】 ①各種ニーズとシーズのマッチングから研究事業への指導・助言など ②マッチング機会の設定・提供 【開発支援事業】 ①研究への指導・助言や改良ニーズの提供 ②許認可申請方法や知的財産に係る相談支援など 【出口支援事業】 ①製品化された器具等の圏域内外への販路開拓 ②ISO13485（医療機器の品質保証のための国際標準規格）取得等の指導・助言など		
事業費	4,352,094円（うち交付金 2,176,000円） ※圏域全体 15,232,328円（うち交付金 7,616,000円）		
数値目標の達成状況			
重要業績評価指標（KPI）		令和2年度実績	評価
①	医療機器等の実用化件数 2件	2件	A
②	支援事業の相談件数 100件	55件	D
③	研究事業へのマッチング件数 5件	5件	A

事業名	中海・宍道湖・大山圏域 インド人材確保・企業連携推進事業		
事業期間	平成30年度～令和2年度（3年間）		
事業概要	インドケララ州からの人材確保及びケララ州企業との連携推進事業 (1)インドIT等人材雇用に関する調査等 ①調査委託費 (2)インド留学生のインターンシップの実施 ①業務委託料 ②バス借上げ、消耗品等 (3)インドケララ州での日本語教育の実施 ①日本語教師報酬等 ②日本語教材費 (4)インドケララ州での圏域企業の就職フェアの実施 ①圏域PR費（ブース設営費、旅費等）		
事業費	1,581,998円（うち交付金 674,000円） ※圏域全体 5,536,992円（うち交付金 2,358,000円）		
数値目標の達成状況			
重要業績評価指標（KPI）		令和2年度実績	評価
①	インドIT等人材の圏域内企業への就職者数 5人	0人	D
②	日印間業務提携企業数 1件	0人	D
③	インド人留学生インターンシップ受入れ人数 14人	-	-

【推進会議での意見・提案】

なし